

フクシからはじめよう!
ワクワクする未来

人とかがわる

ジゴト

Picture Book



は

じ

h a j i
m e

あなたのワクワクする未来ってどんな未来ですか？

これからのワクワクする日本をつくっていくのは、

フクシのシゴトです。

め

n i

ちょっと意外なところにも人とかかわるシゴトがあり、

フクシのシゴトがあります。

に

人と人との関わりの中から広がり、深まり、ふくらんでいく

イマジネイティブでクリエイティブなフクシのシゴト。

先輩たちのシゴトからぜひ、感じてみてください。



人とかがわるシゴト

ヘルパー×モデル ...04

スポーツ×フクシ

ブラインドサッカー ...05

「好きなところに出かけたい」をかなえる ...06

インドの女性といっしょに雑貨づくり ...07

心をうつ芸術作品を世界に発信 ...08

医療ソーシャルワーカー ...09

だれもが立ちよれる居場所をつくる ...10

おわりに ...11

体験したい！

もっと知りたい！



ヘルパー×モデル

すながまなみ
デイハウスみかんの花 介護職員 / 砂賀真奈美さん



「介護」→「幸せ」を
気づかせてくれた！

私のシゴト

介護の仕事とオファーをいただいたときに介護や福祉をもっと明るく取り上げてもらうためにモデルの仕事をしています。目頃は、“おもてなしの心”と“自分の親が介護をされるようになったら、こういう介護をしてもらいたいな”ということ意識しています。



きっかけ

元々はモデルに憧れていて、17歳のときに事務所に入ってショーに出るなどの活動をしていました。その後、21歳のときにそれまでの自分を変えたくて、人の役に立てる仕事にしたいなと思い、働きながら資格をとれる制度を利用して、介護の仕事をはじめました。

シゴトの喜び

介護の仕事をはじめると前は、結構、自分勝手な生活をしていました。でも、自分が幸せと思えることがなくて。この仕事をする中で、おじいちゃんおばあちゃんと毎日お話をしていると、人に感謝することや自分は実は幸せなんだってことに気づけたんです。私は今、一児の母なんですが、これからはお年寄りだけでなく、親の愛を目いっぱい受けられない子どもたちのためにも、何かしたいなって思っています。



スポーツ×福祉 ブラインドサッカー

日本ブラインドサッカー協会 やまもと こうた ダイバーシティ事業部 / 山本康太さん



喜びは、障がい者と健常者の垣根を越えて、一緒に汗を流せること!

私のシゴト

「障がい者も健常者も混ざり合う社会」を実現するために、“ブラインドサッカー”を広めていく仕事をしています。例えば、日本代表強化や世界大会の開催、マーケティングのほかに、小・中学校向けの出張授業などを行っています。



きっかけ

大学生の頃に日本代表のサポーター団体に所属し、PV※や国際交流イベントを作る活動等をしていました。その頃にブラインドサッカーの存在を知り、活動の幅がひろがっていきな
か
で協会の方から声をかけてもらい、当時の仕事を辞めて今の仕事を本格的に始めました。

※パブリックビューイング

シゴトの喜び

ブラインドサッカーの魅力はアイマスクとボールさえあれば、視覚に障がいがある人もそうでない人も、障がい者と健常者の垣根を越えて、一緒に汗を流しながら楽しむことができるということです。まだまだ認知度が低いスポーツですので、もっと多くの人に知ってもらいたいですね。サッカーは、人の心を豊かにし、可能性をひろげるための世界最高のツールだと思っています。



「好きなところに 出かけたらい」をかなえる

株式会社アイビー 代表取締役・介護福祉士 / 真鍋 圭彰さん

お年寄りの
輝く笑顔が喜び!



私のシゴト

体が不自由だからと夢や希望をあきらめないでほしい。そんな思いから、高齢者や障害者の「旅行に行きたい」「レストランで食事をしたい」「好きなところに出かけたらい」という「あたり前の希望」をかなえるためのお手伝いをしています。



きっかけ

元々IT関係の仕事で朝から夜中まで働いていました。「お金より自分の生活を大切にしたい」と、人を支える仕事である介護福祉士になれる専門学校に行くことを決心しました。

シゴトの喜び

お年寄りのなかには「人に迷惑をかけるから」と希望を言わない方や、我慢をしているうちに希望を持つことすら忘れてしまっている方がいます。そんな方は、普段の支援のなかで、興味がありそうなことを探して、声をかけます。信頼関係ができてくるとポロツツとしてみたいことを話してくれることがあるんです。お年寄りの楽しみや生きがいと一緒に見つけ、それを達成できた時、お年寄りの輝くような笑顔に出会えます。それが、なんともいえない喜びです。



インドの女性と いっしょに雑貨づくり

やすだ あき
oaks (オークス) 代表 / 安田亜希さん

人と人との関係から
ちよつとした人生の
きっかけづくりが
できることがうれしい!



私のシゴト

インドのハンセン病コロニーに住む女性たちは、厳しい差別を受け極貧のなか暮らしています。彼女たちの経済的自立と尊厳の回復を支えたいと、ものづくりの技術を教え、つくった雑貨を日本で売り、売上げを彼女たちに還元しています。



きっかけ

学生時代にハンセン病のことを知って、ワークキャンプに参加したのがきっかけです。文化も習慣も違う彼女たちに技術を教えるのは、苦勞の連続。でも、底抜けに明るい彼女たちのことが憎めないんです。「彼女たちのこの笑顔を絶やしたくない!」いつもそんな思いで仕事をしています。

しごとの喜び

人と人との関係のなかから、小さなきっかけをつくったりもったりできることが大きな喜びです。私が心身ともにボロボロの時、ハンセン病になって家族も友人も未来もすべてを失ったおじいちゃんが「お金がなくなっても失うものは何もない。生きる気力をなくすと全てを失ってしまうよ」と励ましてくれました。これがこの仕事の原動力になりました。同時に、自分の存在が現地の人々のちよつとしたきっかけになれたと思う瞬間もありうれしく思います。



心をうつ芸術作品を 世界に発信

こばやし みずえ
社会福祉法人愛成会 アートディレクター・常務理事/小林 瑞恵さん

やりがいには作者から湧き上がるアートの感動を多くの方と共有できたとき!



私のシゴト

アール・ブリュットという言葉を知っていますか? 特別な美術教育を受けていない人々が、その人独自の発想や方法で制作した作品のことです。障害のある作者も多くいます。私はその魅力を伝えるため、国内外の展覧会の企画や運営を行っています。



きっかけ

障害のある方を支援するなかで「周囲と同じでなければならぬ」という枠を軽々と越えてしまう彼らの魅力と、その手から生み出される作品の魅力に心を奪われ、この道にはまっています。

シゴトの喜び

アール・ブリュットと呼ばれる作品を生み出す作者は、他人からどのように見られているのかという評価とは無関係に、内側から湧き上がってくる衝動を純粋に表現しています。だからこそ見る人に驚きを与え、心を打つのです。作品を見た時の感動や創作の背景を知った時の作者への尊敬の気持ちから、障害を含めた個性の理解へとつながっていきます。多くの方とこの気持ちを共有することができた時に、仕事への充実感や喜びを感じます。



医療ソーシャルワーカー

いのせ みほ 猪瀬光穂さん
社会福祉法人聖ヨハネ会 桜町病院 / MSW (医療ソーシャルワーカー)

患者さんの前向きな
表情を見られることが
いちばんの喜び。



私のシゴト

患者さんと今後の生活をどのようにしていくか、問題があるならばどのように解決していくのかを一緒に考えるのがMSWの仕事です。患者さんができそうなことは何か、その方の良いところを探すことが大切だと思います。



きっかけ

高校時代は保育士に憧れていました。でも、通院していたときに、治療にはすごくお金がかかること、最適な治療を受けられず諦める人も多いいことを知りました。そんなときに、困っていることを解決するために一緒に考えられるMSWという仕事をみつけて、社会福祉学科のある大学に進みました。

シゴトの喜び

退院する患者さんがはじめてお会いした時と比べて明るくなっていて、次の生活への前向きな気持ちが表情から読み取れたときは本当にうれしいです。



だれもが立ちよれる 居場所をつくる

NPO法人 地域の寄り合い所 また明日 代表 / 森田 真希さん

世代を越えて生き生きと
しているみなさんを見ることが
幸せ。



私のシゴト

赤ちゃん、お母さん、お父さん、小中学生、お年寄り、近所の方などだれもが立ち寄れる居場所づくり、これが私の仕事です。一つの空間で、「保育所」、認知症のお年寄りが通う「デイホーム」、だれもが立ち寄れる「寄合所」を運営しています。



きっかけ

私の家族は代々おせっかい焼き。その血をひいた私は近所の小さな子どもの面倒をみるのが大好きでした。専門学校では社会福祉の勉強をし保育士の資格をとりました。卒業後、年齢や国籍、障がいを超えた多様な関係性を生み出せる場を作りたいと介護福祉士の夫と地域の寄り合い所また明日を始めました。

シゴトの喜び

泣いている赤ちゃんをお年寄りがあやす横で、小学生が宿題をし、そこに近所の方やお母さん、お父さんが顔を出す。これが、地域の寄り合い所また明日の日常の風景です。世代を超えた関係がつくられるなかで、子どもやお年寄りの生き生きとした触れ合いや、心遣いを見ることがあります。その時、「子どもだから」とか「認知症だから」という思い込みを超えて、一人ひとりの「人として」の存在がくっきりとみえてきます。それが仕事の喜びです。



o w a r i n i

お

わ

り

に

だれかの笑顔をつくれるということ

待っていてくれる人がいるということ

仲間がいるということ

自分が必要とされているということ

なんだか面白そう なんだかワクワクする

ちょっとでも関心を持ったなら、

ぜひ、体験してみてください。

それが、ワクワクする未来をつくるはじめての一步です。



Special Thanks

NPO 法人
地域の寄り合い所
また明日

社会福祉法人
聖ヨハネ会
桜町病院

デイハウス
みかんの花

日本ブラインド
サッカー協会

oaks

社会福祉法人
愛成会

株式会社
アイビー

体験したい!! もっと知りたい!!

夏休みにできる
ボランティア

東京ボランティア
市民活動センター（夏ボラ）



<http://www.tvac.or.jp/summer/>

ちょっと体験!!

介護職場体験



<https://www.tcsw.tvac.or.jp/jinzai/kaigojinzaikakuho.html#taiken>

まずはイベント
に参加!

介護のコト体験フェア



<https://www.tcsw.tvac.or.jp/jinzai/event/H25.html>



東京都福祉人材センター



<https://www.tcsw.tvac.or.jp/jinzai/>

フクシを知ろう!
介護等体験ツアー



夏休みや土日などに介護
や福祉の職場を体験できる
ツアーがあります
(不定期開催)。

<http://www.tcsw.tvac.or.jp/jinzai/koshihaken.html#2>

福祉の仕事を知ろう
資格が取れる学校一覧



P11 に一覧があります

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/jinzai/documents/egaogaafureru-mirai.pdf>

フクシからはじめよう! ワクワクする未来
人とかがわるシゴト Picture Book

発行「福祉の仕事イメージアップキャンペーン事業」実行委員会
作成 社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター
<http://www.tcsw.tvac.or.jp/jinzai/>
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-10-3 東京しごとセンター7階
TEL 03-5211-2860 FAX 03-5211-1494

デザイン NPO 法人 Ubdobe
印刷会社 島津印刷

平成 27 年 3 月